

米子市建設工事成績評定要綱の一部を改正する要綱

米子市建設工事成績評定要綱（平成18年3月31日施行）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に、下線で示すように改正する。

改 正 後	改 正 前
<p>(評定者)</p> <p>第4条 評定を行う者（以下「評定者」という。）は、次の各号に掲げる工事の区分に応じ、当該各号に定めるものとする。</p> <p>(1) 請負金額が2,000万円以上の工事</p> <p>ア 第1次評定者 建設工事規則第31条第1項の規定に基づく監督員（以下「監督員」という。）及び担当課長</p> <p>イ [省略]</p> <p>(評定の方法)</p> <p>第5条 完成検査の評定は、工事成績評定の考査項目別運用表（様式土3-1①から様式土3-1④まで、様式土3-2①及び様式土3-2②、様式土3-3①から様式土3-3⑩まで並びに様式土3-4①及び様式土3-4②又は様式建3-1①から様式建3-1⑧まで、様式建3-2①から様式建3-2④まで及び様式建3-3①から様式建3-3⑧まで）に基づいて実施し、工事成績採点表（様式土1-1及び様式土1-2又は様式建1-1及び様式建1-2）により採点を行うものとし、併せて項目別評点内訳書（様式土2又は様式建2）を作成するものとする。</p>	<p>(評定者)</p> <p>第4条 評定を行う者（以下「評定者」という。）は、次の各号に掲げる工事の区分に応じ、<u>それぞれの</u>当該各号に定めるものとする。</p> <p>(1) 請負金額が2,000万円以上の工事</p> <p>ア 第1次評定者 建設工事規則第30条第1項の規定に基づく監督員（以下「監督員」という。）及び担当課長</p> <p>イ [省略]</p> <p>(評定の方法)</p> <p>第5条 完成検査の評定は、工事成績評定の考査項目別運用表（様式土3-1①から様式土3-1④まで、様式土3-2①及び様式土3-2②、様式土3-3①から様式土3-3⑩まで並びに様式土3-4①及び様式土3-4②又は様式建3-1①から様式建3-1④まで、様式建3-2①から様式建3-2③まで及び様式建3-3①から様式建3-3④まで）に基づいて実施し、工事成績採点表（様式土1-1及び様式土1-2又は様式建1-1及び様式建1-2）により採点を行うものとし、併せて項目別評点内訳書（様式土2又は様式建2）を作成するものとする。</p>
<p>備考 表中の〔 〕の記載は、注記である。</p>	

工事成績評定の様式一覧（建築・設備関係）を次のように改める

## 附 則

### (施行期日)

- 1 この要綱は、令和2年8月1日から施行する。

### (経過措置)

- 2 この要綱による改正後の米子市建設工事成績評定要綱第5条の規定は、この要綱の施行の日以後に発注する建設工事に係る評定（同要綱第1条に規定する評定をいう。以下同じ。）について適用し、同日前に発注した建設工事に係る評定については、なお従前の例による。